

アンティーク調梁化粧板

古風梁

KO-FU-BARI

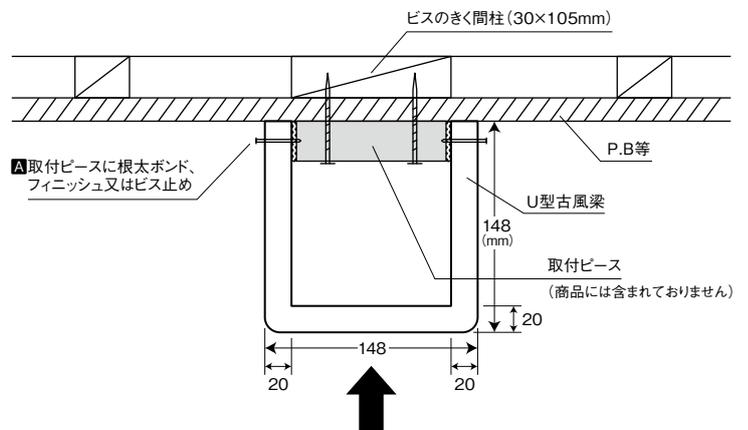
施工説明書

1. U型の製品を天井に接して設置する場合

U型:重量約16kg 20×148×3950(mm)

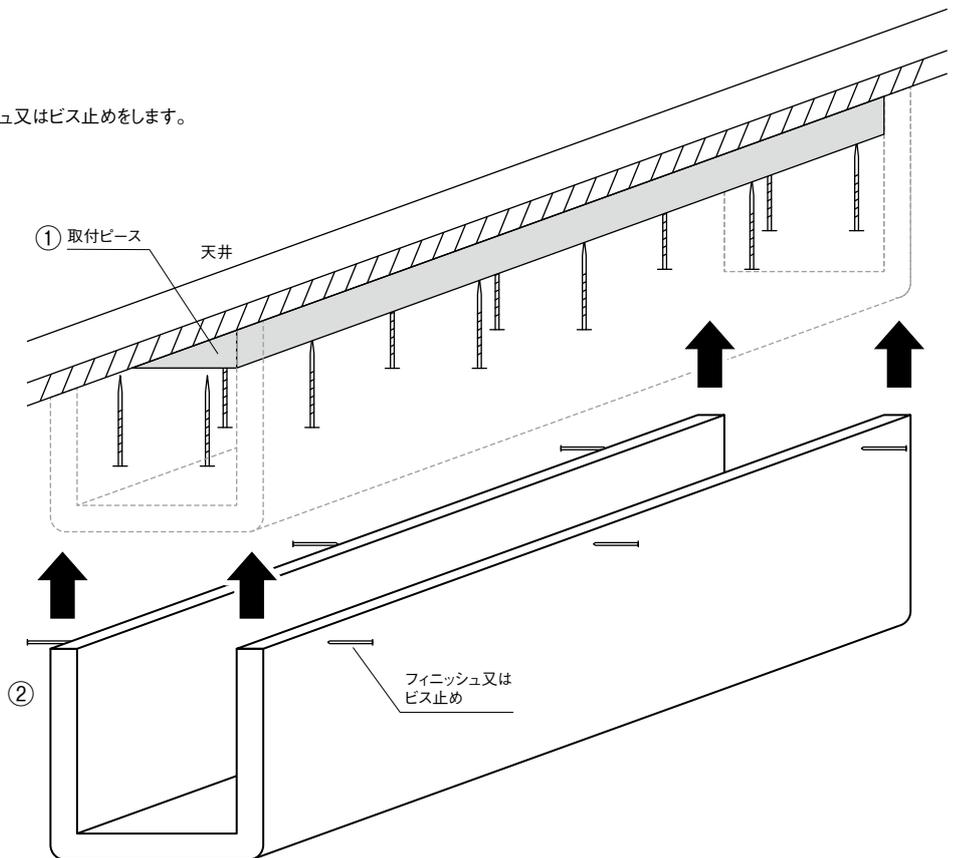
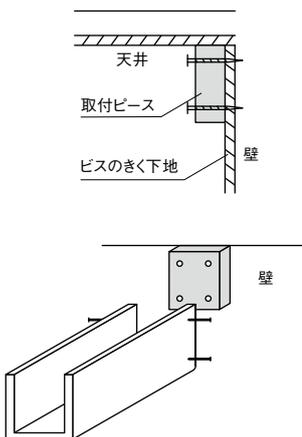
取付ピース・ビスは商品に含まれておりません。

- 取付ピースは厚30mm×幅105mmを用意し、長さは天井下地に安定して取り付く寸法をご使用ください。
- 両端の取付ピースはできるだけ端寄りに取り付けます。
- ビスの長さは板厚の2.5倍程度の物をご使用ください。取付の際は根太ボンドを併用し、フィニッシュ又はビス止めをしてください。



- ①天井に取付ピースを取り付けます。
- ②梁を取り付けます。
梁の重量に耐えられる様に、根太ボンドを併用しフィニッシュ又はビス止めをします。

- 両端に梁の内寸と同じサイズの取付ピースを設けるとさらに安定します。
(4本以上のビスで固定してください)



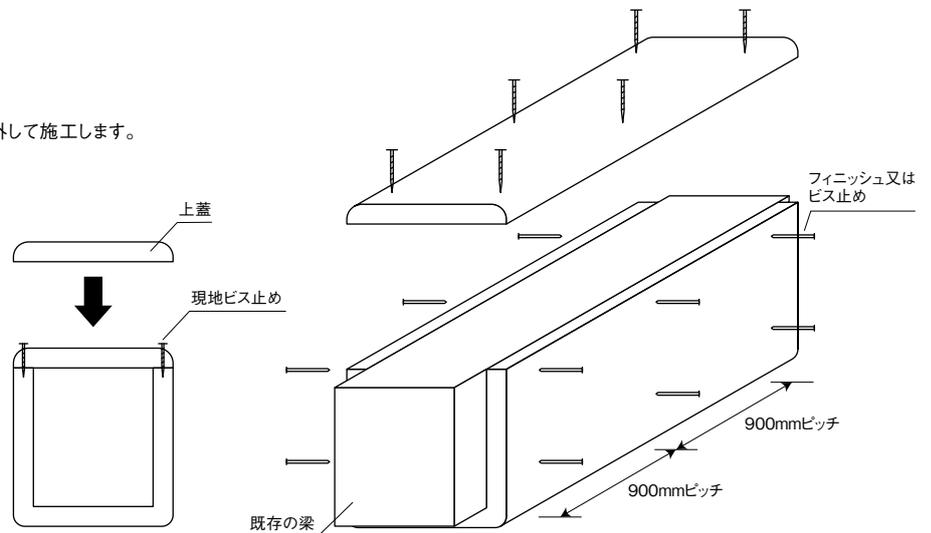
2. BOX型の製品の取付 (中空で梁の上部が見える場合)

BOX型:重量約22kg 20×148×3950(mm)

- 化粧梁の上部が見える場合はBOX型がおすすめです。

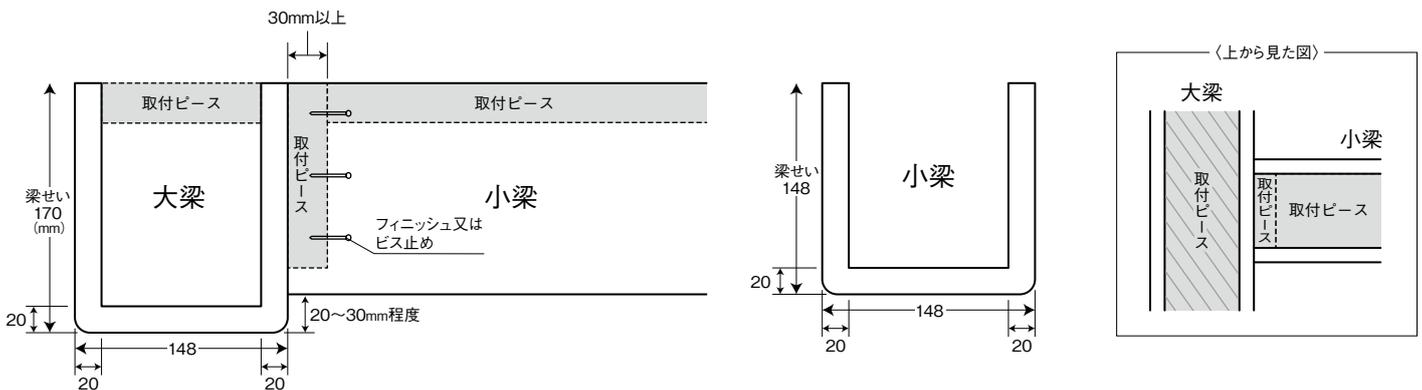
上蓋をセットした状態でお届けしますので現場で上蓋を取り外して施工します。

- 工場制作時に一体成形で仕上げますので、元の状態で取り付けただけであれば、ほぼ完全な一本の無垢梁に見ることができます。また、既存の梁・柱を囲みたい場合にもBOX型を使用します。

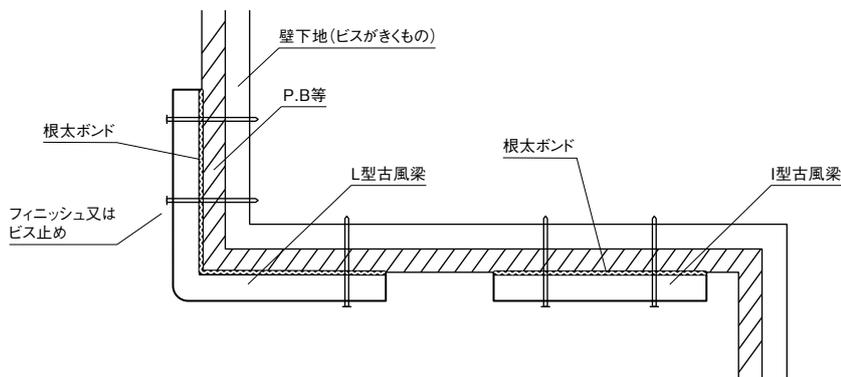


3. 梁が交わる場合 (W148×H170×厚20×L3950程度のサイズを想定)

- 梁と梁をT字に取り付ける場合、通常は10mm程度面取りをしているので(板厚20mmの場合)、余裕をみて小梁の梁せいを20~30mm程度小さくします。そうすることによって大梁の側面に小梁がきれいに納まります。
- 取付の際は大梁に取付ビス(板厚30mm以上)を取り付けて小梁を下から被せてビスで固定します。



4. I型またはL型の製品を設置する場合



5. ビス跡及びジョイントの補修

※タッチアップ塗料付属

- ビスを使用した場合のビス穴にはパテ埋めをし、付属のタッチアップ塗料を使うと仕上がりが綺麗です。補修箇所にはパテを埋め込み、表面をウエスやハケ等を使って雰囲気良くならします。
- 完全に乾かした後に、タッチアップ塗料でハケ塗りをします。一度で色が乗らない場合は重ね塗りをします。



プレイリーホームズ株式会社

www.prairie.co.jp

名古屋 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-7-14 IMYビル7F TEL:052-930-7855 FAX:052-930-7856
 松本 〒390-1131 長野県松本市今井5031 TEL:0263-50-3911 FAX:0263-50-3912